－記者発表資料－

平成 29 年 2 月 2 日
日本下水道事業団

－平成２８年度下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）－
「脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化、燃料化技術実証事業」の実証研究施設完成式典について

日本下水道事業団と月島機械（株）・サンエコサーマル（株）・鹿沼市・（公財）鹿沼市農業公社で共同提案し採択され、国土交通省国土技術政策総合研究所からの委託研究として実施している「脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化、燃料化技術実証事業」の実証研究施設がこのたび完成しました。

つきましては、実証施設の完成を記念して以下のとおり式典を開催する運びとなりました。

実証施設完成式典の概要

日　時	平成２９年２月９日（木）１４時～１４時３０分
会　場	鹿沼市黒川終末処理場 栃木県鹿沼市上殿町６７３－１
主　催	本実証事業共同研究体
出席者	鹿沼市長、国土交通省担当官、日本下水道事業団理事等各共同研究体代表者他

本実証事業は、中小規模の下水処理場を対象とした脱水乾燥システム（機内二液調質型遠心脱水機＋円環式気流乾燥機）を用いて乾燥汚泥を製造し、下水汚泥の肥料化、燃料化などの多様な有効利用への適応性や設備の性能、ライフサイクルコストの縮減等を実証するものです。

従来の乾燥技術では加熱面への汚泥の付着対策が必要であるため、機器やシステムが複雑となりコスト高となっていましたが、本提案技術では、機内二液調質型遠心脱水機から排出される汚泥の性状（低付着性および細粒状）を利用し、機器構造やシステムをシンプルにすることにより、安価な設備とすることが可能となります。また乾燥汚泥含水率の調整範囲が広く、単一の設備において多様な有効利用の用途を確保することで、持続可能な地域循環型社会の構築を実現します。（添付資料参照）

※完成式典の現地取材をご希望の場合は、2 月 3 日（金）正午までに広報室までご連絡下さい。
※完成式典の状況写真をご希望の場合は、2 月 10 日（金）以降にお渡しできますので、資源エネルギー技術課までお問い合わせ下さい。

（問い合わせ先）
ＪＳ技術戦略部
資源エネルギー技術課長　　細川　恒
TEL：03-6361-7853
FAX：03-5805-1828
E-mail：Hosokawah@jswa.go.jp

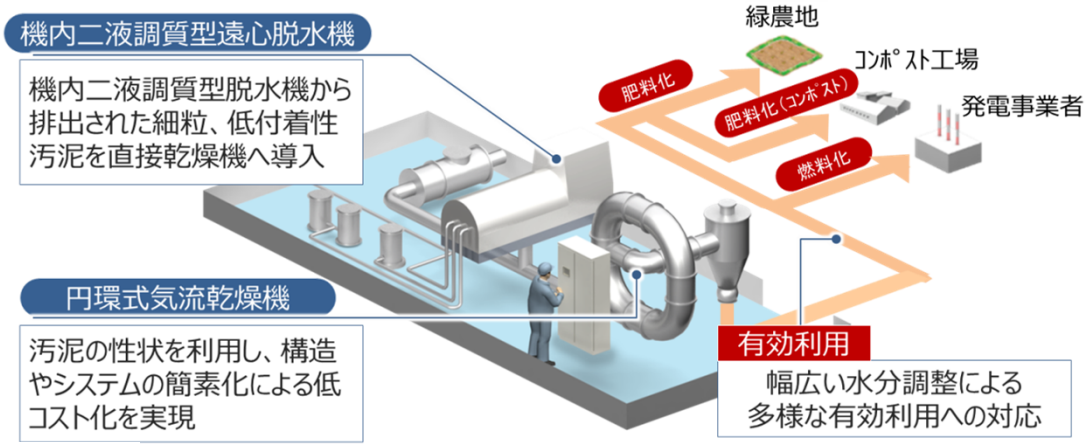
参考資料

脱水乾燥システムによる下水汚泥の肥料化、燃料化技術実証研究

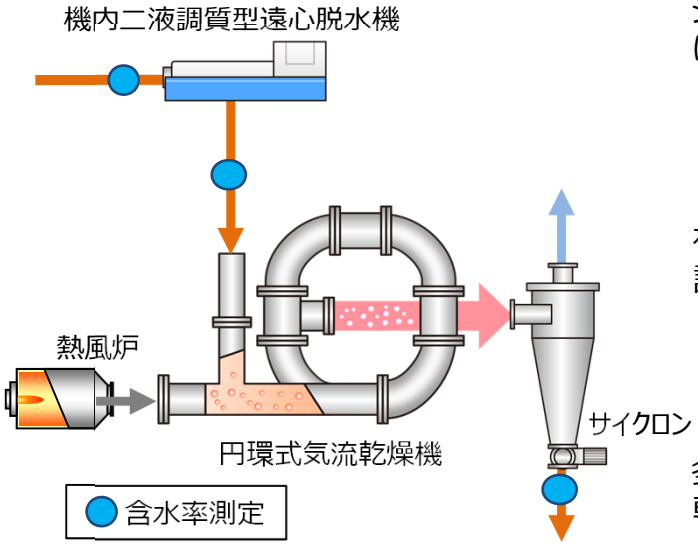
実　施　者　名　：月島機械（株）・サンエコサーマル（株）・日本下水道事業団
鹿沼市・（公財）鹿沼市農業公社　共同研究体
実証フィールド　：鹿沼市黒川終末処理場
実　証　期　間　：平成２８年度～

実証内容

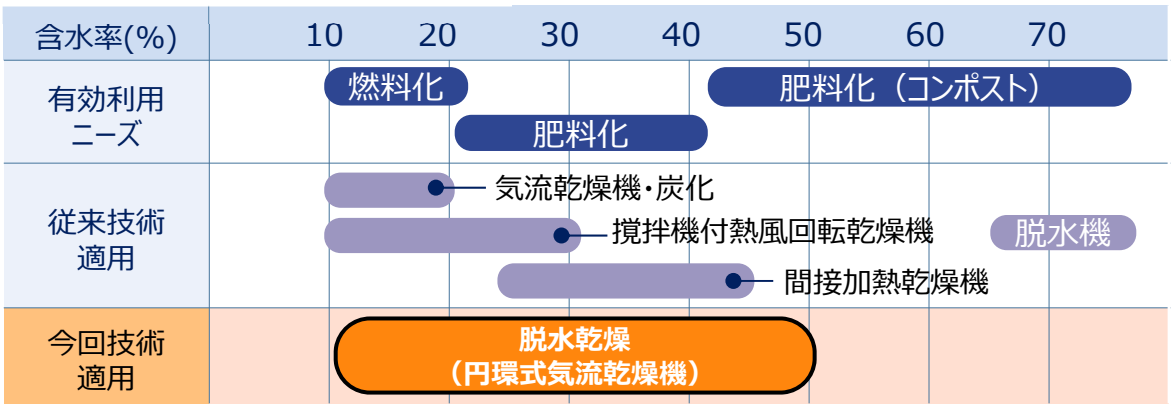
中小規模の下水処理場を対象とした脱水乾燥システム（機内二液調質型遠心脱水機＋円環式気流乾燥機）を用いて、肥料や燃料など用途に応じたライフサイクルコスト低減可能な乾燥汚泥の製造技術を実証します。



システムの特徴



システムの簡素化、省スペース化、スマートオペレーション化による低コスト型脱水乾燥技術
- ○ 主要機器点数の低減　（従来10点→今回技術4点）
- ○ 省スペース化（50%低減）
- ○ スマートオペレーション化
  （人件費削減、運転管理の効率化）

有効利用の用途に応じて幅広い乾燥汚泥含水率の調整を容易とした脱水乾燥技術
- ○ 脱水汚泥の性状を利用し、かつ乾燥機内構造物がなく、付着や摩耗のリスクがない

多様な有効利用に対応した含水率（10～50%）の乾燥汚泥が製造可能